

# 高齢者の夢かなえ隊

地域の高齢化が進む中、阪南市桃の木台校区で中学生が地域の担い手として活動する「子ども福祉委員」が誕生した。一人暮らしのお年寄りの困りごとを解決する「夢かなえ隊」として、8日には早速絵画の掛け替えや草抜きなどに取り組んだ。市社会福祉協議会によると、府内でも初めての取り組みという。

子ども福祉委員は、市立飯の峯中の1、2年生12人。今年6月から市社協や桃の木台校区福祉委員のサポートを受けながら、ミーティングや高齢

## 絵画掛け替えや将棋の対戦相手

者に聞き取り調査をするなど、準備を進めてきた。この日は、夢かなえ隊のチラシを地域の高齢者に配布し、絵画の掛け替えや草刈りなどの手伝いに取り組んだ。自宅の3枚の絵画の掛け替えを依頼した山田瑞子さん(86)は「腰が痛いので苦にならなっていた。若い人が来てくれると若返ります」と笑顔を浮かべた。

一方、2年生の唐木陽登さん(13)はサービスパイク高齢者向け住宅に入居

する94歳の男性の「将棋相手が欲しい」という依頼に応えた。唐木さんは一局を終えて、「緊張したけど楽しかった。一緒に将棋をしてくれる人ができてうれしい」とほかに

夢かなえ隊は今後もお年寄りの困りごとの依頼を受け付けるといふ。子

## 阪南中学生の福祉委員誕生

子どもたちをサポートする「将来地域の担い手に育ててほしい」と期待を込める。市社協は桃の木台校区をモデルとして、今後市内全域にも同じ取り組みを広げるといふ。

1年生の向井風音さん(13)は「夢かなえ隊の人数をもっと増やして、地域のお年寄りを皆で協力して助けていきたい」と意気込んでいた。

【井川加菜美】



「将棋相手が欲しい」との依頼を受けて、将棋を指す「夢かなえ隊」の中学生(左)＝阪南市で